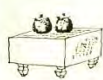




第10号 発行 東京鶴翔同窓会

ご案内!! ことしの、東京鶴翔会は六月十四日(土) 銀座東急ホテルで。



莊内藩主の留学と西郷隆盛

相良 守峯

わが荘内には何故明治以来、陸軍に偉大な将帥が出なかったか。何故商工業を率いる大実業家が輩出されなかったか。



ダダチャ豆 愚考

鶴翔同窓会長 丸谷 八郎

庄内内には、わが退屈的であると言われ、進取的な友人が君ならぬ。それは偉大な西郷隆盛が最もよき友として、おれらのそばに置いてくれたか。

私の中学時代にはトマ豆を食ったことが、何の因果もなく今のように上等のものはない。いわば原種に近い地物だけで、あまりうまいと思わない。

鶴岡南高に新校長



佐藤善一先生 四月より赴任

この四月から堀口校長の後任となった佐藤先生は、全校八百人の生徒に「学校は勉強するところ。進学だけの勉強ではなく、スポーツにも自信を持って」

庄内出羽人形後援会 二入会のご案内 人形師佐藤善吉さん(鶴岡市大東町在住)は盛岡に生まれ、人形使いの修業に励んだが、戦後、炭坑夫として働いたこともある。



鶴岡の春 前鶴岡南高校長 堀口 昌太

残雪の間に芽吹くパンケに遅い鶴岡の春を思わせる校長公告も、昨年12月取れたに於いて、第九回東京鶴翔同窓会の総会並びに懇親会が開催された。

郷土芸能になごむ 同窓会員 150名 第9回東京鶴翔会の報告

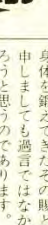


お互いの健康を祝って乾杯、おしはんの特別ごひろう

昭和五十四年六月十六日土曜日、午後四時より東京スカイビル(東京都千代田区丸の内三ノ二)にて、第九回東京鶴翔同窓会の総会並びに懇親会が開催された。

私の野球人生

佐藤義三郎



野球は私の恩人でありまして、私は幼少時より、多量の病気がかりました。百十歳、つづいて黄痘、赤痢、チフス、コレラ、肺炎等、当時は肺炎にかかりました。もう、だめ、だめといわれ、時代でした。

野球は私の恩人でありまして、私は幼少時より、多量の病気がかりました。百十歳、つづいて黄痘、赤痢、チフス、コレラ、肺炎等、当時は肺炎にかかりました。もう、だめ、だめといわれ、時代でした。

庄内銀行東京支店 取組支店長 齋藤 實 (第53回生)

山形相互銀行東京支店 取組支店長 荒井昌一郎 (第49回生)

庄内交通株式会社 東京案内所 東京都港区浜松町2-4-1

郷土料理 おぼろ 大内キク(酒田市出身) 東京都中央区銀座一丁目

山形が誇る米と酒 日本美術刀剣保存協会 刀剣博物館 館長 本間順治

2回生特集

わたしの鶴岡

庄内中学、鶴岡中学、そして鶴岡南高。名称は変わったが、そこに学んだ六代の人の想い出

月山荘で謳う 庄中・鶴中校歌



22回 山本敏郎

私は幸にまだ丈夫です。昨年七月に帰省しました。長泉寺と申しまして、佐久間作太郎三矢三進白井勇等現存者が揃いますが、在鶴の有志等十五、六名と共に月山荘とて集まっています。鶴中の校歌を合唱して思い出を新たにしてみました。

胡馬は北風に 嘶く



32回 菅原四郎治

福岡在住の私が、鶴岡中学東京同窓会新聞に投稿するなど、おこがましい次第だと思います。実は先般、中村信雄氏から突然の電話で、何か書けませんかとの依頼が、何となく時々顔を合わせている同窓生との間柄なので、やむなくペンの向ったのであります。

校門を出た桜坂木の端端道に、手を振ったように、ふりかかると、短文なので、友人の名前をあげることができない。それがさびしい。あしからず。

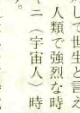
四十、五十は なな垂れ小僧



52回 上野 尾形修三 菅原隆輔 渡部定三

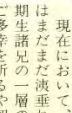
私達は、昭和19年52回の卒業である。翌20年が終戦ということである。重く暗い時代の卒業であった。二十六年の才が流れて、住時茫々の感ではあるが、当時お世話になった生物のムネオ博士、数学のカメ、歴史のカミナリ、剣道のジヤイ、菊池物理の福井、故人になられた先生もおられるが、先ずは諸先生方に厚くお礼申し上げます。

42回 相馬龍夫



人生は対して世と云えるならば、人類で強烈な時代は、ヒキニ(宇宙人)時代である。そのそれは、ヒキニ時代の心にかえて、一夜を懐かし語り明かしたことは、誰にも忘れません。当地には鶴中卒業生が少なく、一種の孤独感を覚えながら上りたに到ったので、特に題名の句が好きで、時々しみみり味わっております。九州にも中学の名門校が数多くありますが、鶴中はそれ等とは決して劣らぬ名門校とぞと、同僚友人等にプライドをもって自慢話をして来たのであります。

62回 佐藤 勤



温海方面からの汽車通学は、毎朝早いだけでなく、海岸線を曲りかねて、トンネルまたトンネルをSのケムリに臨まされる毎日でもあった。矢吹トンネルを過ぎると、あつた鶴岡でトンネルは、広い庄内平原を、三瀬、水沢、大山と一直線に鶴岡へ。そしてその駅から仲間が乗り込んで来る。南高の仲間はもちろん、工業高校、藤島の農業高校、ふじきなどに汽車の仲間が男子生だけ、女子高生と仲良く来た。女子高生は男とのきあいが忙しかったからに違いない。朝七時過ぎには鶴岡に着く。学校までケタをガラガラさせ、のんびり歩いて、高校に入ったとたん、ひびく思案になったのはどうだろうか。

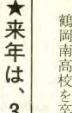
バスケット部の 五十嵐先生



72回 佐藤一繁

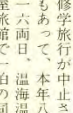
小学校、中学校時代は自分で言うのもおかしいけれど積極的であった自分が、高校に入ると、ひびく思案になったのはどうだろうか。

告知板



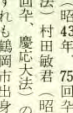
★来年は、3回生(23、33、43、53、63、73)の方が当番幹事です。どうぞよろしく!!

毎年同窓会の33回



去年は、湯の浜で29名参加。ギンチャキが出るというので東京から七名参加。今年は5月12、14日に京都で、びわこめぐり、京都御所見学等。

第62回生の集い



昭和19年卒の52回生は、これ迄尾形修三氏のほおひで、三回同窓会をやってきました。第三回(いもも)も、乞連絡。

王子製紙グループ OJSK 王子製袋株式会社 専務取締役 田中浩 (昭和9年卒) 〒105 東京都港区虎の門1-24-14 常設ビル ☎03-591-6111(代表)

阿宗建設株式会社 社長 阿宗保治郎 (昭和10年43回生) 〒101 東京都千代田区外神田六十五-14 電話 ☎03-3834-1182(代表)

陣屋料理 相馬龍夫 (昭和42回) 東京都中央区銀座六-21-12 電話 ☎03-5572-0151

ドリコ株式会社 水処理、下水処理、上下水道、熱工プラント、温泉計測器、ドリコ浄化槽、水中ポンプ、製作、さくら井